

EU Indicators

欧州経済指標コメント：5月ドイツ消費者物価(速報)

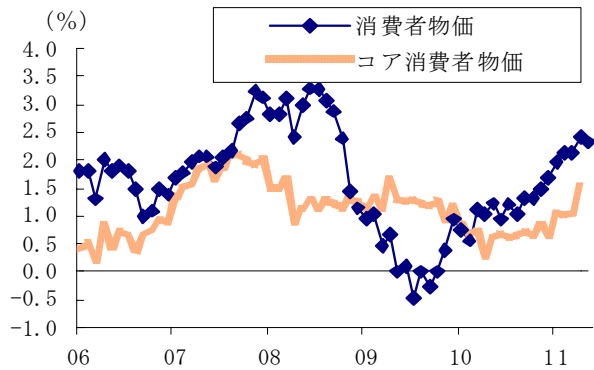
発表日：2011年5月30日(月)

～商品相場の軟化と特殊要因の剥落でインフレ率は縮小～

第一生命経済研究所 経済調査部
主任エコノミスト 田中 理
03-5221-4527

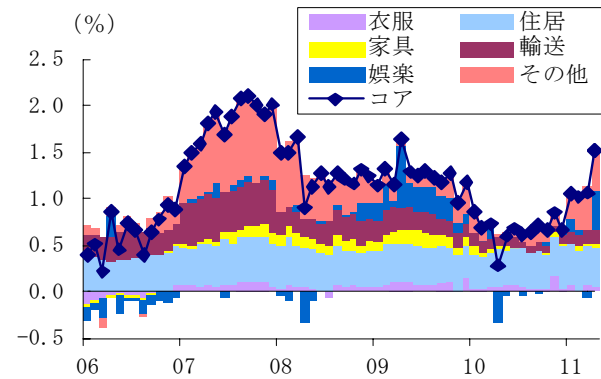
- ・ 27日に発表された5月のドイツの消費者物価(国内基準)の速報値は前年比+2.3%と前月の同+2.4%から上昇率が縮小した(左図)。31日に発表されるユーロ圏全体の消費者物価計数と同一基準(HICP)では、4月：同+2.7%→5月：同+2.4%に大きく縮小した。
- ・ ヘッドラインの物価上昇率の縮小は、①5月入り後のエネルギー価格の軟化(原油価格は約2年半振りの高値から下落)、②4月計数を押し上げたパッケージ旅行の反動増(右図、前年4月の前年比計数がサンプル要因などで前後月のトレンドから逸脱して下落していた反動で、今年4月の計数が大きく上昇)が剥落したことが影響。加えて、持ち家の帰属家賃が4・5月間の物価上昇率の格差を縮小する方向に働かなかで、帰属家賃を含まない統一基準では両月間のコントラストが一層明確に現れた。
- ・ ドイツの物価上昇率の縮小を受け、ユーロ圏全体の計数も4月の前年比+2.8%から小幅縮小を予想。だが一方で、特殊要因が影響したドイツ以外にも、コア物価はユーロ圏内の15ヶ国で加速傾向にある。ヘッドラインのインフレ率の縮小は、ECBに利上げペースを加速させる必要がないとの安心感を提供しようが、二次的波及効果が顕在化しつつある現状を考えれば早期の利上げ打ち止めは考え難い。

■ドイツの消費者物価(前年比)



注：コア物価は食料・タバコ・エネルギー除く
出所：ドイツ連邦統計局

■ドイツのコア消費者物価の要因分解(前年比)



注：住居・輸送費からは各々エネルギー価格を除いた
出所：ドイツ連邦統計局

■ドイツの消費者物価(%)

		2010				2011							
		2Q	3Q	4Q	1Q	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
消費者物価	(前期比)	0.4	0.2	0.6	0.9	0.1	0.4	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	0.2
	(前年比)	1.1	1.2	1.5	2.1	1.3	1.5	1.7	2.0	2.1	2.1	2.4	2.3
コア消費者物価	(前期比)	0.5	0.7	0.7	1.0	0.7	0.9	0.7	1.1	1.0	1.1	1.5	—
食料品	(前年比)	1.3	2.8	3.3	2.8	2.9	3.4	3.6	2.7	3.4	2.2	1.4	—
アルコール	(前年比)	0.5	0.7	0.9	0.5	0.9	1.0	0.7	0.8	-0.1	0.8	1.0	—
タバコ	(前年比)	3.5	0.1	-0.3	-0.6	-0.2	-0.2	-0.5	-0.5	-0.7	-0.6	-0.6	—
エネルギー	(前年比)	4.3	3.9	6.1	9.7	5.0	5.1	8.1	8.6	10.2	10.5	10.4	—
住宅用燃料	(前年比)	0.0	1.6	4.4	9.1	3.3	4.0	5.9	7.8	9.4	10.1	9.6	—
自動車燃料	(前年比)	12.8	8.4	9.3	11.0	8.4	7.0	12.4	9.9	11.8	11.2	12.0	—

注：消費者物価の前期比は季節調整後。コア消費者物価は食料・アルコール・タバコ・エネルギーを除く。
出所：ドイツ連邦統計局

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。